

先生！悩んでいませんか？
1年生でよく聞かれる先生方の悩み

Bさんは廊下から教室に入れないな…
1年生を担当するのは初めてで不安だな…
「架け橋期の充実」が功を奏する可能性

【本カリキュラムの前提となる考え方】



1年生は「ゼロスタート」前提となる「基本的な考え方」



就学前に蓄えてきた「学びの芽生え」をつないで、自覚的な学びへ！

【先生みんなでチェック！】

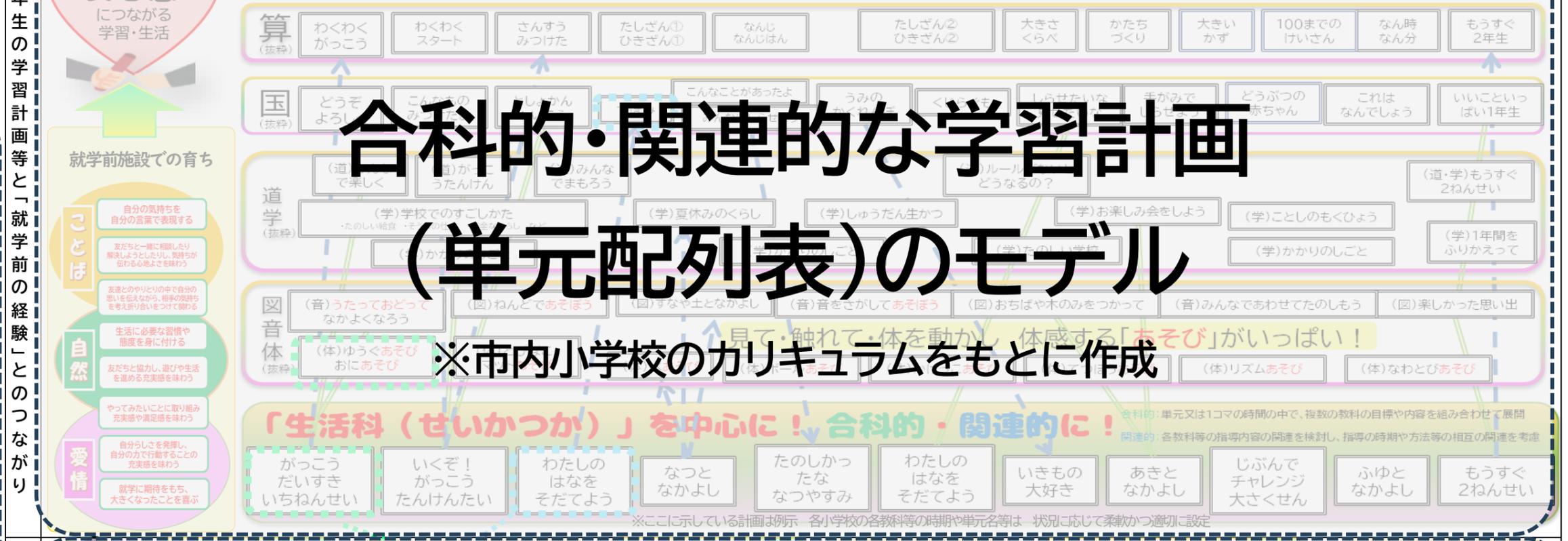
職員会や研修会等で先生たちみんな、小学校全体で1年生からのカリキュラムを確認しましょう。

全ての先生方で確認できることが望ましい事項についての「チェックリスト」

- 架け橋期カリキュラム(5歳児版)を確認した。
 - 特に活動を中心とした「主体的・関連的」な指導が重要であることを確認した。(右参照)
 - 自校1年生の「学びの芽生え」の共有「カリキュラム・マネジメント」について確認した
 - 特に入学当初は柔軟な時間割(15分単位で考える等)の設定が望ましいことを確認した。
 - 就学前に、小学校の「先取り」を到達目標として求めることは、発達段階として望ましいと言えないことを確認した。
- Ex:「文字の読み書きや計算をある程度できるように」
「45分間じっと座ってられるように」等

4月～5月	6月～7月～8月	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none"> 入学したことに喜びと期待感を持つ姿 新しい学習や生活に意欲的に取り組む姿 先生や友達と出会い、関わりをつくるとする姿 新しいこと(時間割・きまり等)に不安を感じる姿 集団の中での望ましい「言動」「話し方・聞き方」「身辺整理」「姿勢」等に個人差が見られる 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活にも慣れてきて落ち着いて過ごす姿 ○異学年との交流等を通じて関わりを深める姿 ○体験を通して学習の楽しさを実感する姿 ○入学当初の意欲等が薄れ始める時期 ○友だちとの意見の相違、ぶつかり合いが見られ始める ●10日以上欠席する児童が増える時期 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活のリズムが定着し、様々な学習や行事等に意欲的に取り組む姿 ○各教科の学習(基礎基本の定着)に個人差が見られる ○各教科の学習(基礎基本の定着)に個人差が見られる ○友だちとの意見の相違、ぶつかり合いが見られる傾向がある ●20日以上欠席する児童が増える時期 	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間をふりかえって、成長を実感する姿 ○2年生の進級に向けて期待感をもつ姿 ●各教科の学習(基礎基本の定着)に個人差が見られる ●進級への不安等から、言動が乱れる姿が見られることがある ●30日以上欠席する児童が増える時期

「安心感(期待感)」は特に入学当初に濃く(子どもたちが強く持てるように)・・・



架け橋期で特に大切にしたい 教職員のかわり(望ましい声かけ・働きかけ)の例示

※全小学校からのアンケートの内容も取り入れて作成

就学前の「学びの芽生え」とつなぐ
幼稚園(こども園・保育所園)では、どんなことしたの？
初めてのことだから先生が説明します。
0からのスタート

合科的・関連的指導の充実を
合:もっと学校を好きになれるように「がっこうだいすき1年生と、体育の「あそび」も一緒にしてみようか！？」
関:生活で育てた「わたしのはなを国語のつぼみ」クイズの文を考るのどうかな？
どの教科の学習が楽しかったの？

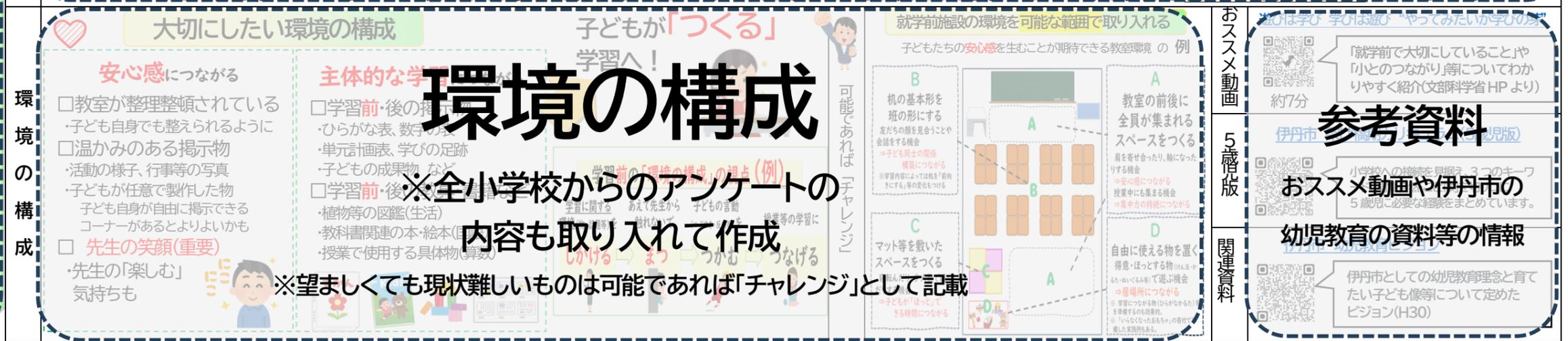
子どもの声(興味・関心)
何か楽しみなことはある？
遊びは何をしてみたい？
子どもにとっての関連を考えられずそれぞれの教科等の学習が子どもにとって別々

子ども同士をつなぐ
「〇〇をわかる子いるかな？」
「〇〇をわかってる子いるかな？」
先生が説明するまで待ってね、さっさも言ったけど…

小学校の生活・環境に慣れる
きまり・ルール・必要の実感を
例: 時間を守るのが大切なのはどうしてかな？
例: 授業中に姿勢よく取り組むと何がいいのかな？等
★できたときに「〇〇できて(望ましい行動) + 気持ちいいね、(褒め言葉)」
「〇〇をわかってる子いるかな？」
「先生が説明するまで待ってね、さっさも言ったけど…」

思い切って任せてみる
・この部分は、みんなできそうかな。
・〇〇については、みんなだけでやってみようか。
・勝手に進めず、ちょっと待って！
・先生の言った通りにしましょう。
指示を待つことを助長

※「吹き出し」の言葉は例の一つです。先生の日々の「言葉がけ」は子の先生の「めざす子ども像」をもとにして現れていると言えます。子どもたちの成長にも影響があります。下の点線内の言葉も、状況によっては必要な場合があることが考えられます。



先生！悩んでいませんか？

クラス全体が「落ち着かないな…」

Aさんが「小学校行きたくない」と言ってる…

Bさんは廊下から教室に入れないな…

1年生を担任するのは初めてで不安だな…

この「架け橋期のカリキュラム」が役立つかもしれません！

【本カリキュラムの前提となる考え方】

就学前施設 → 架け橋期 → 小学校

【就学前からのスムーズなバトンパス】

1年生はゼロからのスタートじゃない！

幼児期の学び → 小学校教育の学び

幼稚園の学び → 架け橋期 → 小学校1年生をゼロからのスタートとしたイメージ

幼児期の学び → 架け橋期 → 小学校1年生をゼロからのスタートとしたイメージ

より大きな成長を！

就学前に蓄えてきた「学びの芽生え」をつないで、**自覚的な学びへ！**

【先生みんなでチェック！】

職員会や研修会等で先生たちみんなで、小学校全体で1年生からのカリキュラムを確認しましょう。

【幼保小の切れ目ない学びを実現できるように】

- 架け橋期カリキュラム(5歳児版)を確認した。
- 特に「生活科」を中心とした「**合科的・関連的**」な指導が重要であることを確認した。(右参照)
- 自校1年生の「めざす子どもの姿」の共有「カリキュラム・マネジメント」について確認した

【より強い「安心感」を子どもが持てるように】

- 特に入学当初は柔軟な時間割(15分単位で考える等)の設定が望ましいことを確認した。
- 就学前に、小学校の「先取り」を到達目標として求めることは、発達段階として望ましいと言えないことを確認した。

Ex:「文字の読み書きや計算をある程度できるように」
「45分間じっと座っていられるように」等

子どもの姿	4月～5月	6月～7月～8月	2学期	3学期
	<ul style="list-style-type: none"> 入学したことに喜びと期待感を持つ姿 新しい学習や生活に意欲的に取り組む姿 先生や友だちと出会い、関わりをつくらうとする姿 新しいこと(時間割・きまり等)に不安を感じる姿 集団の中での望ましい言動「話し方・聞き方」「身辺整理」「姿勢」等に個人差が見られる 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活にも慣れてきて落ち着いて過ごす姿 異学年との交流等を通して関わりを広げる姿 体験を通した学びの中で達成感を感じる姿 入学当初の意欲等が薄れ、乱れが見られる 友だちとの意見の相違、ぶつかり合いが見られ始める ●10日以上欠席する児童が増える時期 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活のリズムが定着し、様々な学習や行事等に意欲的に取り組もうとする姿 行事等の中でみんなで協力する楽しさを実感する姿 各教科の学習(基礎基本の定着)に個人差が見られる ●友だちとの意見の相違、ぶつかり合いが増える傾向がある ●20日以上欠席する児童が増える時期 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間をふりかえって、成長を実感する姿 ●2年生の進級に向けて期待感をもつ姿 ●各教科の学習(基礎基本の定着)に個人差が見られる ●進級への不安等から、言動が乱れる姿が見られることがある ●30日以上欠席する児童が増える時期

「安心感(期待感)」は特に入学当初に濃く(子どもたちが強く持てるように)・・・

につながる学習・生活

算(抜粋) わくわくがっこう わくわくスタート さんすうみつけた たしざん① ひきざん① なんじ なんじはん たしざん② ひきざん② 大きさくらべ かたちづくり 大きいかず 100までのけいさん なん時なん分 もうすぐ2年生

国(抜粋) どうぞよろしく こんなものみつけたよ としょかんへいこう つぼみ こんなことがあったよ うみのかくれんぼ くじらぐも しらせたいな 見せたいな 手がみでしらせよう どうぶつ赤ちゃん これはなんでしょう いいこといっぱい1年生

道学(抜粋) (道)みんなで楽しく (道)がっこうたんけん (道)みんなでまもろう (道)ルールがないとどうなるの? (道)もうすぐ2ねんせい

図音体(抜粋) (音)うたっておどってなかよくなるう (図)ねんどであそぼう (図)すなや土となかよし (音)音をさがしてあそぼう (図)おちばや木のみをつかって (音)みんなであわせたのしもう (図)楽しかった思い出

生活科(抜粋) がっこうだいすき いちねんせい いくぞ! がっこうたんけんたい わたしのはなをそだてよう なつとなかよし たのしかつ たななつやすみ わたしのはなをそだてよう いきもの大好き あきとなかよし じぶんでチャレンジ 大きくせん ふゆとなかよし もうすぐ2ねんせい

見て・触れて・体を動かし 体感する「あそび」がいっぱい!

「生活科(せいかつか)」を中心に! 合科的・関連的に!

教科的: 単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせる展開
関連的: 各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や方法等の相互の関連を考慮

望ましい教職員のかかり働きかけ

就学前の「学びの芽生え」とつなぐ

幼稚園(こども園・保育所園)では、どんなことしたの?
「就学前」+ から
初めてのことから先生が説明します。
0からのスタート

合科的・関連的指導の充実を

合:もっと学校を好きになれるように生活の「がっこうだいすき1年生」と、体育の「ゆうくあそび」も一緒にしてみようか?
関:生活で育てた「わたしのはな」を国語の「つぼみ」でクイズの文章を考えるのはどうかな?
子どもの「思いや願い」を強く持てる学習へ
子どもにとっての関連を考えられずそれぞれの教科等の学習が子どもにとって別々のもの

子どもの声(興味・関心)からスタート

何か楽しみなことはある?
【(単元)〇〇遊び】は何をしてみたい?
子どもたちと一緒に学びをつくること
(先生が一方的に)〇〇しなさい。今日は〇〇をします。
先生から与えられたこと

子ども同士をつなぐ

Aさんがわかっているから聞いてやってみよう。
〇〇をわかる子いるかな?
子ども同士の協力
(子どもからの質問に対して)先生が説明するまで待ってね。さっさも言ったけど…
先生と子ども 一対一対応

小学校の生活・環境に慣れる

きまり・ルール・必要性の実感を
例: 時間を守るのが大切なのはどうしてかな?
例: 授業中に姿勢よく取り組むと何が嬉しいかな? 等
★できたときに「〇〇できて**望ましい行動**+、気持ちいいね、集中できたね**なげやい**」を伝え、誉める。
子どもの納得感・よさの実感 → 自分たちから
「なんで、できないの?言うことを聞かせなさい! (理由なく)とにかく〇〇しないため!」
ルールやきまりの納得感が少ない

思い切って任せてみる

この部分は、みんなでできそうかな。
〇〇については、みんなだけでやってみようか。
主体性の発揮 強い役割意識の実感
勝手に進めず、ちょっと待って!
先生の言った通りにしましょう。
指示を待つことを助長

※ 吹き出しの言葉は例の一つです。先生の日々の「言葉かけ」はその先生の「めざす子ども像」をもとにして現れていると言えます。子どもたちの成長にも影響力があります。下の点線内の言葉は、状況によっては必要な場合があることが考えられます。

大切にしたい環境の構成

安心感につながる

- 教室が整理整頓されている
- 子ども自身でも整えられるように
- 温かみのある掲示物
- 活動の様子、行事等の写真
- 子どもが任意で製作した物
- 子ども自身が自由に掲示できるコーナーがあるとよりよいかも
- 先生の笑顔(重要)
- 先生の「楽しむ」気持ちも

主体的な学習につながる

- 学習前・後の掲示物
- ひらがな表、数字の表
- 単元計画表、学びの足跡
- 子どもの成果物 など
- 学習前・後の教具・書籍など
- 植物等の図鑑(生活)
- 教科書関連の本・絵本(国語)
- 授業で使用される具体物(算数)

子どもが「つくる」学習へ!

学習前の「環境の構成」の視点(例)

学習に関する環境(物・話題等)を 触れないで しかける → まつ → つかむ → つなげる

学習に 関係する 環境(物・話題等)を 触れないで しかける → まつ → つかむ → つなげる

可能であれば「チャンネル」

就学前施設的环境を可能な範囲で取り入れる

子どもたちの安心感を生むことが期待できる教室環境の例

B 机の基本形を班の形にする
友だちの顔を見合うことや会話を促す機会
→子ども同士の関係構築につながる
※学習内容によっては机を「前向きにする」等の変化もつける

A 教室の前後に全員が集まれるスペースをつくる
肩を寄せ合ったり、輪になったりする機会
→安心感につながる
授業中にも集まれる機会
→集中力の持続につながる

C マット等を敷いたスペースをつくる
寝転んだり、少数で遊んだりする機会
→子どもが「ほっとできる時間」につながる

D 自由に使える物を置く
得意・ほっとする物(おもちゃ・絵本等)を置く機会
→居場所につながる
※学習につながる物(ひらがな帳等)を置く機会も必要
※「いらなくなったおもちゃ」の寄付や販売の実践もある

おススメ動画

遊びは学び 学びは遊び “やってみよう”が学びの芽
「就学前で大切にしていること」や「小とのつながり」等についてわかりやすく紹介(文部科学省HPより)
約7分

5歳児版

伊丹市 架け橋期カリキュラム(5歳児版)
小学校への接続を見据え、3つのキーワード「愛情・自然・ことば」を切り口に5歳児に必要な経験をまとめています。

関連資料

伊丹市 幼児教育ビジョン
伊丹市としての幼児教育理念と育てたい子ども像等について定めたビジョン(H30)